

まちの話題



伊佐の寒さが造り出す

熱く美しい氷の世界

1月28日・29日の二日間、“鹿児島県の北海道”とも呼ばれる伊佐の寒さを活かしたイベント「第2回アイスワールド in 伊佐」が開催されました。

50メートルの氷のすべり台には、開始早々に家族連れの長蛇の列ができました。氷像制作や太鼓、歌、ダンス、炎を使ったパフォーマンスなどがあり、伊佐の寒空が鮮やかに彩られました。

また、特別会場では「こんたつ」と題したこたつで行う婚活イベントもあり、参加者は「とてもユニークなイベントだった」「こんなに面白い婚活は他にはない」と笑顔で話していました。

健診受けて 元気な市になるきっかけに



2月15日、市と鹿児島興業信用組合は「特定健康診査事業の推進に関する覚書」を締結しました。

これは、国民健康保険の特定健診または後期高齢者医療の長寿健診を受診した人を対象に金利を優遇することで、健診の受診を推進し、市民の健康づくりや病気の予防につなげようとするものです。これにより、鹿児島興業信用組合大口支店では、4月1日から、特定健診及び長寿健診を受診した人は金利が上乗せされる「健康サポート定期預金『いっど健診』」の取扱いが始まります。

鹿児島興業信用組合の満田學理事長は「地域活性化には地域の人が元気であることが重要。健診受診率の向上の一助になれば」と述べられました。

県内初 消防にドローン導入



1月24日、市役所大口庁舎で無人航空機（ドローン）贈呈式があり、産業用ドローンを制作する㈱エンルートの伊豆智幸社長から伊佐湧水消防組合にドローンが贈られました。消防がドローンを導入するのは県内初です。

2月7日には、伊佐湧水消防組合の職員10人がドローン操縦員の養成訓練を受け、実際に操縦しました。

災害時の状況把握や行方不明者の捜索に役立つだけでなく、これまで危険箇所に消防隊員が出向いていたところをドローンが代行することで、救助する側の安全も守られることが期待されます。伊佐湧水消防組合では今後も活用に向け訓練を重ねていくということです。

知事と語ろう 車座対話



2月5日、三反園知事が伊佐市を訪れました。

まず、高校総体や鹿児島国体の会場となる菱刈カヌー場を視察し、雨の中練習していたカヌークラブ員たちを激励しました。

その後、市役所大口庁舎で校区コミュニティ協議会長など25人が参加して車座対話が行われました。知事は、参加者からのあらゆる取組の紹介や、要望、意見などをメモを取りながら聞き、一つ一つに答えていました。

知事は「鹿児島には農産物をはじめ良いものや可能性がたくさんある。一緒に力強い鹿児島をつくり元気にしていきましょう」と参加者に呼び掛けました。

地域の文化財を守る



1月26日は「文化財防火デー」です。伊佐市では22日に防火訓練を実施しました。

白木神社（県指定）、郡山八幡神社、祁答院家住宅、箱崎神社（国指定）の4つの文化財で、それぞれの地元消防団や消防本部、市の関係課などが訓練に参加しました。

伊佐湧水消防組合の前田消防長は「地域の宝である文化財を後世に残すのは、今を生きる私たちの役目。地域住民や消防団など関係機関が一体となって守りましょう」と話しました。

平出水小「半成人式」



2月4日、平出水小学校4年生の鮫島優太さんと橋本來樹さんが「半成人式」で祝福されました。

鮫島優太さんは「ユーチューバー（YouTuber）になるためにパソコンのしくみや知らない言葉、歴史の勉強に努めたい」、橋本來樹さんは「プロ野球選手のレギュラーを夢見てソフトボールの練習のほか、家で練習に励んでいる」とこやかに語りました。

保護者へ日頃の感謝を綴った手紙を手渡す際には、家族で抱き合うような仲睦まじい一面も見られました。

木ノ氏バイパス開通



伊佐市と熊本県人吉市を結ぶ国道 267 号木ノ氏バイパスが 1 月 28 日に開通し、開通式典が行われました。

この木ノ氏バイパスは、これまでの大口中央中学校下を通る道のりよりも走行距離と時間が短縮され、また、通学路の安全が確保されるという効果があります。

新たに信号機が設置されたり、これまでと通行方法が変わったところがあります。交通事故に気をつけて安全に通行しましょう。

九州中学校サッカー大会に出場



県内 100 チームが参加して 2 月に開催された「第 44 回鹿児島県中学校（U-14）サッカー大会」で、大口中央中学校サッカー部が準優勝しました。

大口中央中サッカー部は鹿児島県代表として、3 月 26 日～28 日に北九州市で開催される「第 30 回九州中学校（U-14）サッカー大会」に出場します。

『感謝の気持ちを忘れず、県代表として戦ってきます。応援よろしくお祈りします。』

選挙の大切さを学ぶ



1 月 24 日、牛尾小学校 6 年生 8 人が選挙出前授業を受け、投票に行く意味と選挙の大切さを学びました。

まず、伊佐市明るい選挙推進協議会の福田 暎盛会長が、児童たちにテレビの国会中継を見せて「授業を受けているこの時間も国会が開催されています。この国会で国のいろいろな事が決まります。皆さんも政治に関心を持ちましょう」と挨拶しました。

続いて、市選挙管理委員会事務局による授業で、実際の投票用紙（見本）を使った模擬投票を体験しました。児童たちは、投票箱に投函した後、中で自然に開くよう特殊加工された投票用紙に驚いた様子でした。

郵便局と 2 つの協定締結



2 月 16 日、市と伊佐市内郵便局は 2 つの協定を締結しました。

「地域における協力に関する協定」は、郵便局員が業務中に子どもや高齢者などの異変に気づいたり、道路の異常を発見したときなどに市に情報を提供し、地域の安全を守ろうとするものです。「災害発生時における伊佐市と伊佐市関係郵便局の協力に関する協定」は、市内 10 か所の郵便局と加治木郵便局が、災害時に緊急車両として車両を提供したり、広報活動などで協力するものです。

伊佐市内郵便局代表の下境田徳王局長（湯之尾郵便局）は「郵便局のネットワークを活かして、市民が安全に生活できるよう協力していきます」と述べられました。

葉タバコの種蒔き



1月20日、JA北さつま大口育苗センターで葉タバコの種蒔きが行われました。農家やJA関係者など30人程が参加し、耕作面積53.9ヘクタール相当の種を蒔きました。

葉タバコの種は約10日で発芽し、2月中旬には各農家に苗が配布され、5月中旬から収穫が始まる予定です。

伊佐農林高校 国と県のダブル受賞



伊佐農林高等学校は「第10回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」と「平成28年度かごしまの“食”活動大賞（食育活動部門）」という2つの賞を受賞しました。

門園校長は「生徒たちの努力の賜物。地域の応援をもらい受賞できました。これまでしてきた活動を形を変えながらも継続していけたら」と語りました。

平成28年度 始良・伊佐地区 社会教育振興会表彰



地域づくり・公民館活動部門（個人の部）
久保陸生さん（大島南）

羽月校区コミュニティ協議会長等を歴任し、地域づくりに尽力されました。



芸術文化活動部門（団体の部）
大口子ども劇場

長年にわたり地域に根差した活動を続け、芸術文化活動の振興に尽力されました。

市出身者初の ラグビートップリーグ選手



伊佐市から日本ラグビーの最高峰リーグ「トップリーグ」の選手が誕生します。

川向瑛さんがこの春「クボタスピアーズ」に入団することが決まり、2月15日、市長を表敬訪問しました。川向さんは、大口中学校を卒業後、鹿児島実業高校、大東文化大学に進学し、高校と大学ではそれぞれラグビー部の主将を務めました。

川向さんは「一年目は常に挑戦し、レギュラーでいられるようにしたい」と抱負を語り、市長から「自分のため、まちのために活躍してください」と激励を受けました。3月13日からチームに合流し、プロ選手としての一步を踏み出します。今後の活躍を期待します。